

大阪府立図書館 基本方針と重点目標（H25—27年度）補足

図書館情報システムの更新について

図書館情報システムの更新に際しては、予算面の制約もあり、現在提供中のサービスメニューをさらに安定的・効果的に提供することを大前提とし、新たな機能については重点を絞って実現することをめざした。費用に関しては、契約期間を従来より1年延長し、5年とすることで年間経費の圧縮に努めた。

主な内容は、データベースの暗号化等によるセキュリティ強化、APIを活用した作業の自動化、柔軟で多角的な統計分析のための環境整備を図るほか、CMS 導入によるホームページ管理の合理化・スピード化、SNS 等外部サイトとの連携によるPRの強化を実現する。

新システムの稼働は平成26年1月を予定している。

新たな利用者サービス

■電子化資料の提供

- ・所蔵資料のデジタル化データを電子資料として Web で公開する。
H26/1：中央図書館の貴重書（書誌約 1500、画像数約 330000）を公開
- ・ポーンデジタル資料（PDF などの電子形態）を収集・保存し、Web-OPAC から検索・表示できるようにする（当面は大阪府庁のウェブサイトにある行政資料を主な対象とする）

■各種データベースの統合的検索

- ・現在公開中の数種のデータベースを統合的なインターフェイスで検索・表示する。
貴重書画像 DB
錦絵にみる大阪の風景
人魚洞文庫 DB
漢籍データ：全国漢籍データベース（京都大学人文学研究所）に登録している書誌情報
レファレンス事例データベース

■Web-OPAC の外部連携

- ・検索結果詳細画面に twitter や facebook へのリンクを設定する
- ・検索結果詳細画面からオンライン書店の当該資料データへリンクする
- ・検索結果詳細画面から国立国会図書館「近代デジタルライブラリ」の当該資料データへリンクする
- ・Open Search への対応

■Web-OPAC 検索項目の拡充

- ・内容細目に加え、図書の日次情報からの検索を可能にする

■Web サービスの向上

- ・「Web 限定利用者」として利用者自身が登録することにより、府立図書館に来館することなく、一部（Web 複写、児童文学館閲覧予約、eレファレンス）のサービスを利用可能とする
- ・Web サービス利用のための初期パスワードの発行を Web 上で自動化し、来館不要とする
- ・こども利用者（小学生まで）も「利用者のページ」（一部機能）の利用ができるようにする

■無線 LAN 提供エリアの拡大

- ・無線 LAN のアクセスポイントを拡充する。中央図書館では全フロアで利用が可能となる